よっちゃばれ

甲斐の国へ いざ出陣

地元歓迎あいさつ

地域経済回復につなげる

山梨県知事
長崎幸太郎

「第16回国内観光活性化フォーラムinやまなし」が、山梨県において盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国各地から山梨県へお越しいただきました皆さまを心から歓迎いたします。

また、一般社団法人全国旅行業協会におかれましては、新型コロナウイルス感染症で大変な影響を受けている旅行業界を力強くけん引し、各地の観光振興や地域経済の回復、発展に多大なるご貢献をされていることに深く感謝を申し上げます。

本県においても、裾野の広い観光産業を力強く支えることが、地域経済の回復につながると考え、観光産業の高付加価値化を加速させる取り組みを進めているところであり、世界文化遺産・富士山をはじめ三つの日本遺産など優れた自然環境や文化を観光資源とし、こうした資源に旅行者のこだわりを実現する仕掛けを加えたプレミアム感のあるツアーの造成に力を入れております。また、旅の大きな目的である「食」を観光高付加価値化の重要分野と位置付け、「美食王国やまなし」の実現に向け取り組みを進めております。県内レストランでは、本県の名水が育む甲州牛、キングサーモンとニジマスを掛け合わせて開発したオリジナル品種「富士の介」、野趣あふれるジビエなど、山梨ならではの食材の良さを生かした料理をお楽しみいただけます。

加えて、「ワイン県」を宣言している本県には、日本固有のぶどう品種である「甲州」を用いたワインはもちろんのこと、本県の6水系の清冽な水を使用した酒造りも盛んであり、地域の気候、風土、伝統的な製法を生かして、品質にこだわって生産に取り組んでいる証である地理的表示（GI）を、全国で初めてワインと日本酒の両方で取得したことから、「美酒美県やまなし」をPRする活動も積極的に行っております。

また、昨年には東富士五湖道路と新東名高速道路の連結道や中部横断自動車道山梨・静岡間の全線が開通し、首都圏や静岡・中京圏からのアクセス利便性が飛躍的に向上いたしました。

さらに、「やまなし観光MaaS」も、この4月から民間事業者による運用が始まっており、今後、県内全域へのエリア拡大やインバウンド対応など、県内周遊における旅行者のさらなる利便性の向上に期待が高まっております。

今秋には、世界最大の武者行列としてギネス登録された「信玄公祭り」が3年半ぶりに過去最大規模で開催されます。開催に当たっては、祭りの実行委員会とともに、演出の工夫や誘客の強化により祭りのグレードアップを図りつつ、県内各地ににぎわいを広げていく新たな取り組みにもチャレンジしてまいります。

皆さまには、ぜひ、この機会に、美食王国やまなしの食やワイン、日本酒を楽しんでいただくとともに、美しい風景や山梨ならではのアクティビティなど、本県の高いポテンシャルを堪能していただき、本県の魅力を全国にPRしていただきたいと願っております。

結びに、本フォーラムの開催にあたりご尽力いただきました一般社団法人全国旅行業協会並びに関係者の皆さまに深く感謝申し上げるとともに、ご参加の皆さまのますますのご健勝、ご活躍を祈念いたしましてあいさつとさせていただきます。

国内観光の活性化に弾み

甲府市長
樋口雄一

「第16回国内観光活性化フォーラムinやまなし」が、甲府市において盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、全国各地からお越しいただいた皆さまを心より歓迎いたします。

また、一般社団法人全国旅行業協会におかれましては、安全かつ快適な旅行環境づくりを通じた旅行者の利便性の向上や、地域の観光資源を生かした着地型旅行の推進など、地域経済の活性化に大きく貢献されておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、本市におきましては、2020年6月、代表的な景勝地である御嶽昇仙峡とその一帯地域の文化・伝統が織りなすストーリー「甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡～水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ～」が日本遺産に認定されました。

また、2019年には、戦国時代最強とうたわれた郷土の英雄である武田信玄公の父信虎公が、躑躅(つつじ)が崎（現在の武田神社）に館を構えた1519年（永正16年）の開府から500年となる「こうふ開府500年」、さらに昨年には「信玄公生誕500年」という大きな節目を迎えたところであります。

本市では、こうした好機を捉えて、御嶽昇仙峡や信玄の湯　湯村温泉、重層的な歴史・文化といった観光資源を生かした誘客に努めるとともに、長引くコロナ禍の中で「観光事業者等衛生対策補助金」の創設や、県と連携した「やまなしグリーン・ゾーン認証制度」の推進、さらには宿泊割引クーポンを活用した観光需要喚起策などを展開し、地域経済の回復に全力で取り組んでまいります。

現在、マイクロツーリズムをはじめ、ウィズコロナ、アフターコロナにおける観光の取り組みが進められている中、旅行業に携わる皆さまが全国から集う本フォーラムの開催は、国内観光のさらなる活性化に弾みをつけるとともに、併せて山梨、甲府を全国に発信できる絶好の機会になるものと大いに期待を寄せているところであります。ぜひご参加の皆さまには、本市の魅力に触れていただき、各方面において本市のPRと観光振興にお力添えを賜わりますようお願い申し上げます。

結びに、本フォーラムの開催にあたりご尽力を賜わりました一般社団法人全国旅行業協会並びに関係者の皆さまに厚く御礼申し上げますとともに、貴協会と旅行業のさらなる発展とご参加の皆さま方のますますのご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げましてあいさつとさせていただきます。

第16回国内観光活性化フォーラムｉｎやまなし　大会次第（予定）

日時：令和４年５月31日（火）（13：00～16：55）
会場：ＹＣＣ県民文化ホール・大ホール（甲府市寿町２６－１）

時　間	内　　容			
10:00～	受付開始			
13:00～13:20	私立日本航空高校によるオープニングアトラクション			
13:20～13:30	舞台転換			
13:30～14:10	**開会式**			
	(1)開会宣言	地元実行委員会	委員長	菅沼　稔　氏
	(2)主催者挨拶	（一社）全国旅行業協会	会長	二階　俊博　氏
	(3)来賓挨拶	観光庁長官		和田　浩一　氏
	(4)歓迎挨拶	山梨県知事		長崎　幸太郎　氏
	(5)歓迎挨拶	甲府市長		樋口　雄一　氏
	(6)主催者・来賓紹介			
14:10～14:15	舞台転換			
14:15～14:35	**基調講演　「これからの観光政策について」**	観光庁 参事官		高橋　泰史　氏
14:35～15:05	**記念講演**	山梨県知事		長崎　幸太郎　氏
15:05～16:05	展示ブース見学			
16:05～16:20	甲府市立甲府商業高校によるアトラクション			
16:20～16:25	舞台転換			
16:25～16:35	**表彰式**　「熊本県送客キャンペーン」優秀会員表彰	本部実行委員会	委員長	近藤　幸二　氏
16:35～16:40	舞台転換			
16:40～16:45	**山梨県送客キャンペーンの提案** （一社）全国旅行業協会 副会長			駒井　輝男　氏
16:45～16:50	**次回開催地引継式**			
	京浜地方支部長連絡会		議長	村山　吉三郎　氏
	東北地方支部長連絡会		議長	大久　光昭　氏
16:50～16:55	閉会挨拶	（一社）全国旅行業協会	副会長	北　敏一　氏

地元実行委員会　委員長
山梨県支部　菅沼稔支部長に聞く
「ウィズコロナからの脱却」がテーマ

――国内観光活性化フォーラムが山梨県で開かれるのは初めて。今回のテーマは。

「『コロナ禍からの脱却』がテーマ。ウィズコロナ時代の中、一部の個人旅行は再開するも、国内観光はまだまだ疲弊している。国内観光の回復を目指し、来訪する全国の観光事業者に山梨県の魅力、そして元気を届けたい」

――山梨県の旅の魅力は。

「富士山を含めた山に囲まれた県であり、南に富士山、北に八ヶ岳、西には南アルプスの3千㍍級の山々が連なる。有名な山が360度広がる様子は見てほしい」

「果物の産地であり、ブドウ、モモ、サクランボの3種は特に有名だ。また、ブドウを使ったワインの生産量は日本一を誇る」

――大会プログラムの内容について。

「歴史を感じられる場所。2019年は戦国武将として有名な武田信玄公の父信虎公が甲府に居を構えて500年の記念すべき年だった。2021年は信玄公の生誕500年に当たる。今後、県内ではさまざまな行事が予定されている。戦国に思いをはせながら山梨を巡ってもらいたい」

「北は北海道、南は沖縄まで、日本全国から約千人の観光事業者が集まる。大会では、山梨に来て良かったと言って帰ってもらえるアトラクションを用意している。オープニングでは『太鼓祭　日本一決定戦』で5年連続日本一を獲得した日本航空高校の太鼓隊による和太鼓パフォーマンス、今年3月の全国大会で3位に輝いた甲府市立甲府商業高校のソングリーダー部によるパフォーマンスが披露される」

「会場には、山梨県内の各市町村が魅力を紹介するブースが50近く設けられる。これまでに触れることがなかった県内各地域の観光資源、着地型観光、特産品などを、大会を機会にぜひ知ってもらいたい」

「このほか、観光庁の高橋泰史参事官による基調講演、山梨県の長崎幸太郎知事による記念講演、『熊本県送客キャンペーン』での優秀会員の表彰、山梨県送客キャンペーンの提案などが行われる」

――会員や関係者などへ歓迎のメッセージを。

「コロナ禍の中の開催であり、感染症対策をしながら安全、安心な大会を実施する。『山梨が良かったから、また山梨に行こう』と言ってもらえることが一番であり、地元が一体となり、準備をした。来訪者には、山梨県の魅力を十分堪能してほしい」

大会（MICE）の運営管理がワンストップにできる!

旅行会社限定　初期費用無料

全旅マルっとペイ

システム利用料1.48%　システム手数料150円/人（参加者負担も可）

WEB申込受付
●申込フォーム自動生成
●複数区分設定
●イベント一括登録
●キャンセル待ち

参加者管理
●参加者リスト生成
●入金状況管理
●メール配信
●電話申込管理

決済機能
●カード決済
●コンビニ決済
●ペイジー決済
●キャンセル料徴収
●返金

便利な機能
●WEBチケット発行
●QRコード発行
●領収書発行
●在庫管理機能
●アンケート機能
●Zoom連携

お問い合わせ先
株式会社 全旅　営業推進本部
TEL：03-6264-1399（東日本）
06-6947-5050（西日本）

詳しくはこちら　お申込みはこちら

さまざまな大会（MICE）の申込受付から参加者管理・決済機能までを自動化できます!

利用シーンは無限大！こんなイベントはマルっとおまかせ

第16回 国内観光活性化フォーラムinやまなし

全国旅行業協会（ANTA）31日に開催

主催者あいさつ

山梨から「新しい旅のスタイル」発信

全国旅行業協会会長
二階俊博

「第16回　国内観光活性化フォーラムinやまなし」が、長崎幸太郎知事をはじめ地元の皆さまのご熱意をいただいて、世界文化遺産の富士山、美しく雄大な自然、歴史と文化、ワインやフルーツの美食など、魅力あふれる観光資源に恵まれた山梨の地において開催することを心からうれしく思います。また、全国各地でご活躍されるANTA会員の皆さま、観光振興にご尽力されている地元自治体や観光関係の皆さまのご参集を賜りましたことに、厚く御礼を申し上げます。

当協会が主催する国内観光活性化フォーラムは、2003年の第1回大会から数えて16回目の開催となりました。この間、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年2月、本年3月と実施を見合わせ、ようやく開催の図り、お客さまに安全で安心な旅行を提供するため日々たゆまぬ努力を続けております。今回のフォーラムは、この山梨の地から「新しい旅のスタイル」を発信する機会としても、誠に時宜を得たものであると考えます。

また、地域観光事業支援「県民割」のエリア拡大、その後に控える「GoTo トラベル事業」の再開により、失われた旅行者が回帰し、全国各地が再び元気とにぎわいを取り戻すことを願っております。

ANTA会員各位におかれましては、地元に密着した旅行業者の強みを生かし、お客さまにより一層の安心かつ安全な楽しい旅を提供して旅行需要の回復につなげていただきたいと思います。

一人一人の力は小さいですが、いかなる危機に直面しても、全国5400社のANTA会員が長年の経験と英知を結集すれば大きな力となり、この難局を乗り越え、観光産業が復活を果たすと信じております。会員一丸で総力を挙げて共に奮起してまいりましょう。

結びに、山梨県の観光のますますのご発展、旅行業、観光業のますますのご隆盛、皆さまのご健勝とご繁栄を心より祈念いたしまして、私からのあいさつとさせていただきます。

大会スローガン

行こうよ山梨 フルーツ王国 ワイン県

全国旅行業協会（ANTA、会長＝二階俊博衆院議員）は31日、国内旅行の活性化と観光立国の実現を目指して「第16回国内観光活性化フォーラムinやまなし」を山梨県甲府市のYCC県民文化ホールで開催する。ANTA会員の旅行会社や都道府県観光関係担当者など約千人が参加。山梨を中心とした国内観光の情報を発信する。

大会スローガンは、本部が「行こうよ山梨フルーツ王国ワイン県」、地元が「よっちゃばれ甲斐の国へいざ出陣」。国内観光の活性化のほか、ANTA全国支部組織の連携強化、着地型旅行（地旅）の推進を目的とする。大会では、グルメをはじめ、世界遺産の富士山、歴史・文化などを含め、自然豊かな山梨県をアピールする。

共催は、株式会社全旅。後援は、国土交通省、観光庁、山梨県、46都道府県、山梨県内各市町村、日本観光振興協会、日本旅館協会、日本商工会議所、全国商工会連合会など。

基調講演で観光庁参事官の高橋泰史氏が「これからの観光政策について」を話すほか、山梨県知事の長崎幸太郎氏が記念講演を行う。

全国5400社のANTA会員が力を合わせて山梨県に旅行者を送る「山梨県送客キャンペーン」の実施も決定する見込み。前回の「第15回国内観光活性化フォーラムinくまもと」で決定し、その後実施された「熊本県送客キャンペーン」の優秀会員に対する表彰も行われる。

山梨の観光地を巡るモデルコースは、計6コース発表されている。

同フォーラムは、昨年2月9日に開催予定だったが、緊急事態宣言の発令などで、延期を2回していた。

前回の国内観光活性化フォーラムｉｎくまもと

ＹＣＣ県民文化ホール

モデルコースの紹介
（全６コース）

①「山梨定番　富士山と昇仙峡を満喫するコース」（１泊２日）
【１日目】出発地→河口湖～富士山パノラマロープウェイ→北口本宮富士浅間神社→富岳風穴→富士大石ハナテラス→河口湖・忍野八海・山中湖周辺【２日目】ホテル→リニア見学センター→桔梗信玄餅工場テーマパーク→武田神社→御岳昇仙峡→帰着地

②「八ヶ岳エリア定番スポット・名水の里をめぐるコース」（１泊２日）
【１日目】出発地→八ヶ岳高原大橋→川俣川渓谷・吐竜の滝→萌木の村→清泉寮ジャージーハット→清里・大泉周辺ホテル・ペンション
【２日目】ホテル・ペンション→平山郁夫シルクロード美術館→三分一湧水→台ヶ原宿→サントリー天然水白州工場・白州蒸留所→道の駅はくしゅう→帰着地

③「ワイナリーめぐりとフルーツ狩りを楽しむコース」（日帰り）
出発地→ぶどうの国歴史文化館→ワイナリーめぐり→勝沼ぶどうの丘→フルーツ狩りなど→帰着地

④「身延山久遠寺周辺コース」（１泊２日）
【１日目】出発地→赤沢宿→雨畑硯の里　硯匠庵→身延山宿坊・下部温泉
【２日目】宿坊・ホテル→身延山久遠寺→身延山ロープウェイ→帰着地

⑤「甲府開府５００年　信玄公の生きた時代にタイムスリップ」（日帰り）
甲府駅→武田神社→円光院→武田信玄公の墓→大泉寺→甲府城→甲府駅

⑥「吉田のうどんと古（いにしえ）のまち散策の旅」（日帰り）
富士急行下吉田駅→月江寺界隈→吉田のうどん→道の駅富士吉田・ふじやまビール→富士吉田駅

河口湖から望む富士山

「学生がつくる山梨県の着地型旅行プランコンテスト」受賞者

全国旅行業協会（ANTA）は、「第16回国内観光活性化フォーラムinやまなし」の開催に向けて実施した、「学生がつくる山梨県の着地型旅行プランコンテスト」の受賞者を発表した。最優秀賞は、「パステルカラーの祈りの道を歩く―地元の学生しか知らない癒しとインスタ映えスポットを巡る―」を企画した、山梨県立大学2年（吉村凜、中町優希、風間千弘、竹之内大地、天野真、岩田輝、渡邉幹也※受賞者は20年12月16日時点）が受賞した。敬称略。

同コンテストは、若者の発想で斬新なアイデアに富んだ旅行商品の企画募集を、山梨県在住の高校生以上で学校に在籍する学生を対象に実施したもの。76作品（121人）の応募があった。審査会が20年12月16日に開催され、受賞者が決まった。

最優秀賞を受賞した企画は、友達同士が思い出の1ページを作ることを目的に、甲府市、山梨市、甲州市内の「超インスタ映えスポット」を巡る1泊2日のツアー。想定時期は、10～11月ごろ。

1日目は、奥昇仙峡の板敷渓谷で絶景や紅葉を望むほか、昇仙峡にあるカフェ〝カフェテロワール〟で地産地消の洋食やスイーツを味わう。宿泊地は、甲州最古の源泉湯と若女将こだわりの山梨の旬の料理が楽しめる岩下温泉旅館。宿は〝温泉ねこ〟でも有名。2日目は、恵林寺で座禅体験や門前で精進料理を食べるなど、健康や癒やしを体感。このほか、西沢渓谷で森林浴や著名な滝を眺望するなど、絶景インスタ映えスポットを巡る。

その他の受賞者は次の通り。※受賞者は20年12月16日時点。

優秀賞「富士のふもとの魅力さがし旅」富士北陵高校3年（山本玲菜）▽特別賞「富士山の湧水と山岳信仰を五感で感じる心の旅～コロナ収束祈願と明日のために、地元若者がお薦めする秘蔵スポット体験ツアー～」山梨県立大学3年（福田和、上田香織、加賀美里奈、佐藤佑紀、鈴木紅音、手塚孝志、吉田龍）▽同「山梨がつくった自然を知る旅。」甲斐清和高校3年（櫻袋芽留、大平璃奈、早川美優、長野愛琴、村仲真衣）▽同「自粛疲れを吹き飛ばせ！やまなし『いいとこどり』ツアー」日本大学4年（久保田海斗）▽学校賞・富士北陵高校3年生▽株式会社全旅賞「富士山だけなんていっちょし！～たまには行ってもいいじゃんけ～」産業技術短期大学校1年（名取花、岩間理侑、緒方祐奈、朱芷明）

最優秀賞（イメージ）

最優秀賞は地元学生が紹介するインスタ映えスポット巡り

受賞者